

平成31年度 つくば市立吾妻小学校グランドデザイン

本校の教育目標

未来に向かい、たくましく生きる児童の育成 ～世界にはばたく吾妻の児の育成～
 ・考えて行動する児童 ・思いやりのある素直な児童 ・最後までやり遂げる児童 ・心身ともに健康な児童

学校経営の方針

- 1 夢と希望を育む学校 【9年間の連続した学びの中で、一人一人の個性を伸ばし、夢や希望を育む学校づくり】
- 2 活力ある信頼される学校 【常に革新を目指す教師集団による保護者・地域に信頼される学校づくり】
- 3 地域とともに歩む学校 【地域の人的環境、教育環境を積極的に活用した学校づくり】

吾妻学園（施設隣接型小中一貫教育）

学校経営の重点

- 1 小中一貫教育の推進 (つくばスタイル科を核とした各教科、特別な教科道徳、特別活動、学校行事におけるつくば次世代型スキルの重点化、学園内で一体化した研究組織による授業研究、9年間を見通した生徒指導個票の活用)
- 2 主体的・対話的で深い学びの実現 (筋道を立て、相手を意識しながら、表現する言語活用力を育成 互いの考えを深めあう学習を取り入れた授業実践 ICT機器を活用し、ICT活用力を育成 本物に触れる授業実践)
- 3 豊かな心を育む教育の推進 (戦略的道徳の推進 温かい学年・学級づくり 安心して生活できる環境の整備 あいさつ運動 清掃指導の充実)
- 4 教職員の資質向上 (校内研修テーマに基づいた研修の充実 研究会等への積極的な参加の奨励 学校コンプライアンス推進体制の整備(教職員の不祥事の未然防止))
- 5 家庭・地域との連携及び協働 (学校、家庭、地域との連携・協力による交通事故の未然防止 学校ボランティア、地域人材の積極的・効果的な活用)

◎つくば市学校教育目標
「のびのび学べる楽しい学園・学校」
 ～未来をひらく社会力豊かな
 幼児・児童・生徒の育成～

◎児童・生徒の願い
 ・学力向上と自己実現・自己確立
 ・認め合い、高め合う人間関係
 ・安心して夢を語り合える学校生活

キーワード: 言語活用力, ICT活用力, 本!

【組織目標】
 ◎自分の考えを表現し、意見を交換する学習ができる児童を育てる。
 ◎思いやりをもち、最後まであきらめずに行動できる児童を育てる。
 ◎人と人とのつながりを大切に信頼される学校づくりを推進する。

帰属意識 (温かい人間関係の中で安心して生活できる)
 自律性・協調性 Ⅲ期
 個性の伸長 Ⅱ期
 活動性 Ⅰ期

「学び続ける力」

◎学ぶことのすばらしさを知り、生涯にわたって学び続けていくことのできる児童の育成

【具現化のための取組】
 ア 筋道を立て、相手を考えながらまとめる言語活動の充実
 イ ICT機器を活用した意見交換など、情報活用能力の育成
 ウ 英語学習・外国語活動の充実
 エ 発展的課題、工夫された課題を取り入れた質の高い授業
 オ 地域の特性を生かした「本物」に触れる学習の場の提供
 ー小中一貫教育の推進 保幼小連携の推進ー
 キ 「次世代型AZUMAプラン」によるつくば次世代型スキルの系統的な育成
 ク 小学校における(一部)教科担任制の推進
 ケ 幼児教育と小学校教育の円滑な接続

【数値目標】
 ・人の話をよく聞き、自分の意見と交換する児童 90%以上 (86%)
 ・自分から進んで学習に取り組む児童 80%以上 (79%)
 ・家庭学習が十分定着している児童 85%以上 (81%)

「感じる力」

◎ものや自然、他者から様々なことを感じ取り、思いやりの心を育むことのできる児童の育成

【具現化のための取組】
 ア 豊かな人間関係を育む学年学級づくり(C&S調査の活用)
 イ 奉仕の心、気付き力を育てる愛校作業の実施
 ウ 豊かな感性や思いやりの心を育てる読書の奨励(みんなに進めたい1冊の本推進事業の活用)
 エ 全学年共通の「思いやり・あいさつ」の指導(児童の計画によるあいさつ運動)
 オ 「善行の記録」をととした児童の良さの発掘(看護日誌の活用)
 カ 読み書きが困難な児童の理解と指導法の工夫(LD研修の実施)
 キ 多様性に配慮した、よりよい社会を築こうとする態度の育成(外国籍児童との交流)
 ー小中一貫教育の推進 保幼小連携の推進ー
 ク 共通の価値項目による道徳の時間と戦略的道徳の活用
 ケ 系統性のある環境教育、キャリア教育、情報モラル教育の推進
 コ いじめ撲滅AZUMAフォーラムの実施

【数値目標】
 ・自分からあいさつをする児童 90%以上 (80%)
 ・友達や周りの人の気持ちを考えて生活する児童 95%以上 (90%)
 ・読書50冊以上 75%以上 (71%)

「なすとげる力」

◎他者と喜びを分かち合い、最後まで物事を成し遂げていくことのできる児童の育成

【具現化のための取組】
 ア みんなで創る感動の学校行事
 入学式、運動会、音楽会、1/2成人式、継志式
 イ 異年齢集団交流活動の推進(さわやか活動・あづまる活動)
 ウ 健康や安全を考え、実践できる自己管理能力の育成(ロング昼休み)
 エ 体力向上を目指す授業改善
 ー小中一貫教育の推進 保幼小連携の推進ー
 オ 学園合同キャリア教育(生きる力未来講座)
 カ 保育所・幼稚園園児との交流活動(あづまあそび王国)
 キ 学園児童生徒の主体的な委員会活動(小中合同の委員会活動)
 ク 幼児・児童交流、児童・生徒合同授業の推進

【数値目標】
 ・友達と協力して行事に取り組む児童 95%以上 (92%)
 ・体力テスト A+B の値 50%以上 (35.4%)
 ・将来の夢や目標をもち、実現を目指して努力している児童 86%以上 (85%)

自発性 Ⅰ期 1年～4年 意見の交換 Ⅱ期 5年～7年 発展的な学習 Ⅲ期 8年～9年 ()内はH30結果

目的意識 (目標をもち、自ら進んで学ぶ ～学校教育全体で自主性・自立性を育成する～)

保護者や地域社会に信頼される学園・学校づくり 社会に開かれた教育課程の実践

- ・学園・校内研修の充実による教職員の資質向上
- ・学校評価アンケート
- ・学校公開
- ・学校評議員会議
- ・学校ホームページの更新
- ・教職員の自己評価
- ・学校だより、学年だより等の発行
- ・学校支援ボランティアとの連携
- ・地域行事(吾妻まつり・防災キャンプ等)への参加と「心のふるさと」づくり

チーム吾妻小により、子どもにとっても教師にとってもゆとりと充実を
 学校運営の見直しと校務の効率化の推進(ロング昼休み「読書の日」の設定)